



# 令和4年度 さいたま市タウンミーティング 〈開催概要〉



## ●開催テーマ

デジタルでシンカするさいたま市  
～デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進～

- 「さいたまデジタル八策」への意見
- 重点的に取り組んでほしい分野は？
- 配慮してほしいことは？

開催日時： 令和4年7月31日（日）  
9:30～11:00  
会 場： 見沼区役所  
2階 大会議室  
参加者： 14名（傍聴者2名）  
市出席者： 市長  
都市戦略本部デジタル改革推進部  
事務局： 市長公室秘書広報部広聴課

## ●テーマの説明・意見交換のねらい

コロナ禍を契機に、国、地方公共団体を含めた行政全体のデジタル化の遅れが強く認識されたところです。デジタル庁が創設され行政のデジタル化が急ピッチで進められる中、本市においては、令和2年11月にDX推進本部を設置、令和3年度には、将来を見据えて中長期的にDXを推進するため、「さいたまデジタル八策」を策定し、取組を進めてきました。

タウンミーティングでは、デジタルによって、進める進化と深める深化の二つの軸でシンカするさいたま市について御意見を伺いました。



## ●参加者からの御意見 これら以外にも多くの御意見をいただきました。

- ・デジタルデバインド対策として紙媒体も併用してほしい
- ・全市民のリテラシー向上について考えてほしい
- ・対面での対応を充実させてほしい
- ・DXを活用して、地域について勉強することができるようにとよい
- ・デジタルに詳しくない高齢者のサポートに、学生をどんどん使ってほしい
- ・マイナンバーカードがいろいろなことに利用できるようになれば、取得率も上がる
- ・デジタルデバインド対策として、市民や企業が協力する体制をつくるとよい

## ●御参加いただき、ありがとうございました！



当日は若い世代から様々な世代の方々に御参加いただき、ありがとうございました。皆様からいただいた御意見で、いろいろなことに気づけるようなミーティングだったと思います。

デジタルは、市民サービスや業務効率を高める重要なツールですので、これまで以上にスピード感を持ってDXを推進し、より利便性の高い市民サービスの提供や業務の効率化に向けて取り組んでいきます。

令和5年3月 さいたま市長 清水 勇人